

## 行政機能ごとの事業展開と必要な諸室（案）について

### <複合施設整備に当たっての留意事項>

- 1 基本構想に基づき、現時点における諸室の配置の考え方や構成、想定面積等を示します。  
今後、市民会議の意見をはじめ、様々な意見を聴取したうえで、さらに詳細な検討を行い、必要な修正を加えるとともに、専門家の意見を参考に基本計画に反映します。
- 2 施設整備にあたっては、以下のことに配慮して設計等を行っていきます。
  - (1)ユニバーサルデザイン  
年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、誰もが安全・快適に利用できる空間を整備します。
  - (2)省エネルギー、省資源化  
建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等を踏まえ、環境負荷の低減に配慮した施設整備を進めます。
  - (3)ライフサイクルコストの低減  
建設時の費用のみならず、建設後の維持管理や将来必要となる改修等を容易に行うことができるよう、効率性、経済性に配慮した施設整備を進めます。
  - (4)施設のコンパクト化  
諸室の共用化や周辺施設との相互利用などにより、必要な機能を確保したうえで、できるだけコンパクトな施設整備を目指します。
- 3 施設の管理運営手法については、民間活力導入可能性調査の結果を踏まえ、設計・建設も含め、包括的な民間活力の活用を視野に入れて検討します。

## 【生涯学習機能】

分類	事業・サービス展開 (主な想定例)	諸室配置の考え方	諸室名 (仮称)	概算 面積 (㎡)	他との共用			
					生涯	図書	子育て	歴史
市の 講座 等	○市民大学 一般教養講座、実技講座（運動、音楽、その他） ○夜間講座 一般教養、運動（ヨガ等）、音楽（楽器）、その他 ○パソコン教室 ワード、エクセル、パワーポイント ○いきいき体験学級 一般教養、体験学習、健康講座、音楽 ○休日・夜間講座 平日仕事をしている方向け（若年層や男性など） ○料理教室 ○地域課題解決講座（複数部署の連携事業） まちづくり、市民活動支援、克雪、自主防災・・・	講座等の種類により利用人数が異なるため、大きさの異なる複数の諸室を配置します。 3部屋の間仕切りを可動式にすることで、大会議室としても利用可能とします。	研修室A (25人規模)	60	●	○	○	○
			研修室B (15人規模)	40	●	○	○	○
			研修室C (10人規模)	20	●	○	○	○
			和室A (15~20畳程度)	30	●	○	○	○
			和室B (15~20畳程度)	30	●	○	○	○
			調理室	60	●	○	○	○
貸館 利用	○文化芸術 絵画、書道、古文書、生け花、短歌・俳句、茶道 ○趣味・生きがい パッチワーク、切り絵、詩吟、ちぎり絵、舞踊、囲碁 ○音楽 歌声喫茶、民謡、合唱、オカリナ、管弦楽、ピアノ ○運動 太極拳、フラダンス、エアロビ、ダンス ○その他 介護予防、心の相談、ジオパーク	利用形態に応じて、特定分野の活動に対応可能な諸室を配置します。 ・文化活動（茶道、舞踊等） ・料理教室 ・楽器練習、声楽練習 ・ダンス、太極拳 など また、活動の種類や人数に応じて大きさの異なる部屋を整備するとともに、できるだけ可動式の間仕切りを導入して、諸室の柔軟性を高めます。	音楽室（防音）大 兼研修室	90	●	○	○	○
			音楽室（防音）小	30	●	○	○	○
			多目的ルーム (運動等)	250	●	○	○	○
			事務室 (生涯・歴史)	50	●			○
展示	○市民作品展、講座学習発表 ○貸館利用（写真展、絵画展、盆栽展、生け花展）	生涯学習展示のほか、歴史資料の企画展等にも活用します。	展示スペース【再掲】 (生涯学習、歴史資料等)	200	●	○	○	●
計				860	但し共用含む			

※「他との共用」欄中、●は主たる利用、○は共同利用

## 【図書館機能】

分類	事業・サービス展開 (主な想定例)	諸室配置の考え方	諸室名 (仮称)	概算 面積 (㎡)	他との共用			
					生涯	図書	子育て	歴史
開架	想定蔵書冊数：160,000点（現在約129,000点） ○一般開架室（40,000点。5段や6段の書架等を80本程度配置） 小説、暮らし、子育て、ビジネス、ティーンズ向け、旅行、 郷土関連、辞書・辞典、参考書、各種図鑑、各種全集など ⇒地場産業等とコラボした企画展示、郷土学習支援、 インターネット閲覧環境の整備 ○児童閲覧室（20,000点。2段や3段の書架等を60本程度配置） 児童書の充実、ブックスタート、子育て支援センター事業 との連携（おはなし会等） ○読書室（学習室） 読書のほか、学習活動や調査研究活動に対応 ○資料室 レファレンス対応、郷土資料等を活用した調査研究に対応	書架、新聞雑誌架、閲覧席のほか、閲覧用PCを配置するなど、滞在型にも対応した快適な環境を整備します。	一般開架室 (受付カウンター含む)	330		●		
		児童の背丈にあわせた書架を配置するとともに、児童閲覧室内に親子で読み聞かせができる朗読室を整備します。	児童閲覧室 (朗読室含む)	200		●	○	
		読書や学習ができるスペースを整備するとともに、一部に仕切られた空間（静寂読書室）を確保します。	読書室（学習室）	100		●		
		郷土資料や学術書等を配備し、レファレンスサービスに対応します。	資料室	70		●		
閉架	閉架書庫 資料の保存（一般、児童含む）、保存用新聞など	今後の増加分も含めて100,000冊分の収納スペースを確保します。	閉架書庫	200		●		
事務	○本の貸し借り、購入資料等の装備、本の修理 ○施設配本の準備、学校配本の準備 ○一般事務、経理業務	カウンター業務や本の修理等に必要スペースのほか、配本用書架も整備します。	事務室	50		●		
			作業室	35		●		
計				985	但し共用含む			

※「他との共用」欄中、●は主たる利用、○は共同利用

## 【子育て支援機能】

分類	事業・サービス展開 (主な想定例)	諸室配置の考え方	諸室名 (仮称)	概算 面積 (㎡)	他との共用				
					生涯	図書	子育て	歴史	
遊び ・ 交流	乳児から3歳未満の子どもと保護者がゆっくりと過ごせる場として、主に次の事業を行います。 赤ちゃんと母親のふれあい遊び、ベビーヨガ、すくすく成長記録、絵本の読み聞かせ、手遊びなど	年齢に応じて活動スペースを区分します。 3歳未満は、親子で安全快適に過ごせる場を提供します。(マット敷) 3歳以上は、動き回れる空間と休憩スペースを分けて設置します。	ハイハイコーナー (3歳未満)	100			●		
	3歳から小学校低学年の子どもに合わせて、季節や天候に左右されず思いっきり遊べる場として、自由に身体を動かせる動的空間と、読書や休憩などの静的空間を提供し、主に次の事業を行います。 自由に遊べる広場(屋内遊具)、げんきっこクラブ、父親との親子遊び、フォトフレームを作ろう、七夕飾りなど	また、遊戯空間には、子どもたちが伸び伸びと遊べる大型遊具などを設置するほか、静寂空間には、クッションやテーブル等を配置してゆっくりとくつろげる場所にします。	キッズコーナー (3歳以上、遊び場等)	200			●		
			ゆったりスペース (3歳以上、休憩等)	100			●		
相談	リラックスした雰囲気、育児不安の解消につながる身近な相談の場を提供します。 ⇒専属スタッフとコミュニケーションを取りながら、悩みや不安を引き出すとともに、必要に応じて関係機関につなぐ役割も担います。	プライバシーに配慮し、2~3人程度で対話ができる仕切られた空間を整備します。	相談室	10	○	○	●	○	
預かり	子育て家庭の保育ニーズに対応した一時預かりの場を提供します。 また、図書館や生涯学習センターなどの利用者が気軽に預けられる環境の整備します。	安全・快適な預かりスペースとして、15人程度まで対応可能な広さの個室を設置します。	一時預かりルーム	50			●		
その他	上記に付帯する諸室	受付、事務スペース	事務室	25			●		
		子育て機能利用者のほか、子ども連れで他の行政機能(図書館等)に来館する方も利用できるように配置します。	授乳、おむつ、ベビーカー置場、下足		26	○	○	●	○
			トイレ (幼児用・大人用)		20	○	○	●	○
計				531	但し共用含む				

※「他との共用」欄中、●は主たる利用、○は共同利用

イメージ ⇒



ハイハイコーナー



キッズコーナー



ゆったりスペース

## 【歴史資料展示機能】

分類	事業・サービス展開 (主な想定例)	諸室配置の考え方	諸室名 (仮称)	概算 面積 (㎡)	他との共用			
					生涯	図書	子育て	歴史
常設 展示	本市の歴史を総合的に学べる拠点（センター拠点）として、①歴史息づく湯沢の暮らし今昔、②佐竹南家が育んだ湯沢の文化、③自然豊かな湯沢の暮らし今昔、④商都湯沢の反映の姿をテーマに常設展示を行うとともに、サテライト施設（既存の展示施設）に誘導する仕組みをつくりまします。（展示の工夫や施設情報コーナーの設置など） また、館内に案内機器を導入するほか、来館者のスマートフォンを使ってのガイダンス機能（多言語対応）を利用できるなど、展示内容を分かりやすく理解していただける環境を整えます。	テーマに沿ってゾーンを区分し、次のような展示を行います。 ①歴史息づく湯沢の暮らし今昔 通史パネル、縄文土器など ②佐竹南家が育んだ湯沢の文化 佐竹南家資料（御日記、漆器類など） ③自然豊かな湯沢の暮らし今昔 自然と暮らしのジオラマなど ④商都湯沢の反映の姿 近世から産業発展を支えた資料 （酒・漆器・うどん）、絵図など ※上記は、1期分・2期分を含む全体構想。 2期分は当面、会議室等として暫定利用。	常設展示スペース (1期分)	150				●
			常設展示スペース (2期分)	150	○	○	○	●
企画 展示	お祭り等、各行事の開催に合わせた企画展を開催します。 観光・商工団体等との連携により、賑わいにつながるイベント等を実施します。 ⇒小野小町展、七夕絵どうろうまつり展、犬っこまつり展 湯沢の先覚者展 など	歴史資料の企画展示のほか、生涯学習 展示等にも対応	展示スペース (生涯学習、歴史資料 等) 【再掲】	200	●	○	○	●
収蔵	市が所有管理する文化財資料のうち、温度や湿度管理等を要する貴重な文化財資料を収蔵します。 ⇒県指定：佐竹南家日記、市指定：佐竹南家関係資料一式  ※その他資料（酒造用具、民具など）は既存の公共施設を活用して集約化し、一定レベルの管理環境で保管します。	貴重な文化財資料として、佐竹南家御日記など約350点の収蔵に必要なスペースや温湿度管理や収蔵ケースなどを備えた収蔵室を設置します。 また、収蔵室のほか、収蔵前に必要となる荷解室等も設置します。	収蔵室 (荷解室等を含む)	70	○	○	○	●
講座 等	○古文書解読初心者講座（佐竹南家日記など） ○郷土の歴史体験講座 ⇒湯沢風・絵どうろう制作体験、川連漆器・稲庭うどん体験、郷土料理体験、昔語り・読み聞かせ体験など ○歴史文化講演会（企画展にあわせた講演会） ○縄文の歴史講座（発掘出土品を活用した講座）	講座や体験交流事業は、生涯学習センターの研修室や共有ロビー等で実施します。  (再掲)	(生涯学習センターの研修室など) 【再掲】	-	●	○	○	○
			事務室（生涯・歴史） 【再掲】	50	●	○	○	●
計				620	但し共用含む			

※「他との共用」欄中、●は主たる利用、○は共同利用

## 【共有ゾーン】

分類	事業・サービス展開 (主な想定例)	諸室配置の考え方	諸室名 (仮称)	概算 面積 (㎡)	他との共用			
					生涯 生涯	図書	子育て	歴史
市民 活動	○地域団体やNPO、男女共同参画など、多彩で広範な市民活動を支援するフリースペース ⇒上記活動のほか、多様な交流の場、待合の場としての利用も想定 ○ロビーでの開かれた空間に加え、活動の種類に応じて個室も設置します。	玄関ロビーのフリースペースとして、様々な活動に対応できる開放的な環境を整備します。 展示スペースと近接させることで中規模程度のイベント開催にも対応します。  Wi-Fi環境や印刷機等を設置し、様々な作業に対応する個室を備えます。	市民活動スペース (エントランス・ロビー)	200	○	○	○	○
			市民活動室〈個室〉 (コワーキングスペース)	50	○	○	○	○
展示	○生涯学習展示…市民作品展、講座学習発表 ○歴史資料展示…企画展示(各種イベントと連携) ※展示がない期間は市民活動スペースとしても活用します。	生涯学習や歴史資料等の展示に対応可能なスペースを整備します。	展示スペース (生涯学習, 歴史資料等) 【再掲】	200	●	○	○	●
その 他	○行政サービスを実施するために必要な諸室・設備 ○エントランスや廊下などの共有スペースを活用して、絵どうろうなどの観光資源を展示することで、来館者に本市の魅力を発信	各行政機能の展開に必要な諸室、スペースを整備します。	給湯室、更衣室 (職員用)	30	○	○	○	○
			倉庫	75	○	○	○	○
			搬入口	54	○	○	○	○
			機械室	75	○	○	○	○
			その他 (廊下, 階段, EV, トイレ等)	1,126	○	○	○	○
計				1,810	但し共用含む			

※「他との共用」欄中、●は主たる利用、○は共同利用